

令和5年度第2回秋田県入札制度適正化推進委員会の概要について

- 1 日 時 令和6年1月31日（水）午後1時30分から
2 場 所 秋田県教育会館3階 B会議室
3 出席者 委員長 石 田 英 憲
委員 及 川 洋 千葉 一 明
加 納 静 佳 安 保 和 仁

4 議 事

(1) 報告事項

- ① 県発注工事に係る入札・契約手続の運用状況について
－ 質疑・意見等なし －
② 指名停止等の運用状況について
－ 質疑・意見等なし －

(2) 審議事項

抽出案件① 《産業労働部産業集積課：秋田湾産業新拠点〔A-BIZ〕道路改良工事 04-IJM10-20》

石田委員長 抽出工事は、条件が良かったため多数の業者が入札に参加した結果、落札価格が下がったということなのか教えていただきたい。

産業集積課 そのように認識している。

安保委員 資料の9ページには、抽出工事の他に同じ名称の工事が2件あるが、抽出工事との違いを教えていただきたい。

産業集積課 他の2件については、抽出工事と関連のある工事である。

抽出工事の施工場所は地図の南側であったが、他の工事のうちの1件は反対側である北側の工事である。工事内容については抽出工事とほぼ同じ工事であり、草木を伐倒し、平らにした上で砕石を敷くなど、比較的的施工しやすい工事であった。

もう1件は、地下埋設物の移設工事である。

条件としては、施工場所が大きな道路に接している平らな場所、周りに住家など気にすべき点がないということもあり、やや受注しやすい面もあったかと思うが、部材の発注や建設機械の手配など、抽出された工事と難易度が異なることから、落札率に関しては比較的に下がらなかったものと考えている。

及川委員 技術的難易度が低い工事と技術的難易度が高い工事は利益率が同じなのか教えていただきたい。

建設政策課長 工事内容に大きな変更があれば変更契約を行っているため、業者への負担は少ないものと考えており、変更契約までに至らないささいな変更が生じた場合については利益率が若干下がるものが

あるかと考えているが、実際の利益率が100円に対していくらであるかなどについては把握していない。

また、単純な工事であればあるほど、落札率が下がるため、結果として利益率に大きな違いはないのではないかと考えているところである。

及川委員 技術的難易度が低い工事であっても、技術的難易度が高い工事であっても利益率が同じなのであれば、業者は低い工事の入札に参加するのではないかと考えられるが、不調不落が多い原因はそういったことなのか教えていただきたい。

建設政策課長 建設業者からは必ずしもお金だけではないとの話も伺っている。他の工事を請け負っており、施工する余裕がなく、入札に参加できないということもあり、タイミングの問題もあるものと考えている。

抽出案件② 《警察本部：職員宿舎（秋田）改修工事 RE-2》

石田委員長 この抽出工事においても受注意欲が高かったため、参加者が多く、比較的到低い金額で落札されたということなのか教えていただきたい。

警察本部 そのように認識している。

石田委員長 失格者の理由が、各入札者から入札時に提出される見積内訳書の現場管理費の内訳が秋田県低入札価格調査取扱実施要領により算定される金額よりも低かったとのことであるが、現場管理費とはどのようなものであったのか教えていただきたい。

また、失格者が多かったことの推定される要因について、同要領により簡易調査における算定式が公開されており、当該算定式に基づく積算が十分ではなかったものと推定しているとのことであるが、これまで当委員会において抽出された事例では、入札金額が調査基準価格と同額となっているケースが多いように感じている。推定になると思うが、今回の工事において積算が難しかった要素や要因などがあるのか教えていただきたい。

警察本部 現場管理費は、営繕工事の積算における共通費となっており、直接工事費における諸経費となっている。

具体的な内容については、各工事現場を管理するための費用であり、労務管理、保険料、従業員の手当、福利厚生費などである。

2点目の質問については、当該要領に基づいて算定したものであり、特段この工事において難しいものではなかったものと認識している。入札参加意欲が高かったため、調査基準価格を下回った業者が多かったものと推定している。

及川委員 入札時点において入札に何社参加するのか不明であるため、入札

に参加する業者は、当該工事が入札参加意欲の高い工事であると認識できないのではないだろうか。

警察本部 入札に参加する業者数については開札時まで不明であるが、過去の例などを参考にすると、施工場所が秋田市の中心部であったため入札参加可能業者が多く、工事内容についても集合住宅の単純なリフォームであり、技術的難易度が高くないものであったことなどの理由から、当該工事の入札に参加する業者が多いと推測したものと認識している。

及川委員 予定価格の積算については積算基準書に基づいて算出しているとのことであるが、積算結果についてはどのように検証しているのか教えていただきたい。

警察本部 積算結果については複数の職員により検証している。

その他

千葉委員 総合評価落札方式について、他都道府県では、過去の施工実績を対象とせず、その代わりに女性技術者や若手技術者を配置している場合に加点対象としている場合や経験が少ない若手技術職員を配置しても不利にならない方式を採用している場合もあるが、このような取組について秋田県ではどのように考えているのか教えていただきたい。

また、各市町村で技術者の育成が難しくなっている昨今の状況において、災害時に技術者を県から各市町村へ派遣するなどの連携について、ルールを整備しているのか教えていただきたい。

そのほか、総合評価落札方式におけるワークライフバランスの加点についてはどのように考えているのか教えていただきたい。

技術管理課長 秋田県では、施工される工事において技術力をある程度評価していきたいとの観点から若手や女性技術者の配置を含めた実績を評価している状況である。

なお、過去の施工実績を評価対象とせず、その代わりに女性技術者や若手技術者を配置する他都道府県の取組における秋田県の考え方については、これまで総合評価落札方式に手をあげてこなかった業者を入札に取り込む観点から、実績が無くても他業者と、ある程度競争できるように、施工実績等を評価項目から外したチャレンジ型という方式を昨年8月から実施している。

ワークライフバランスの評価については、子ども子育ての支援の表彰、えるぼし又はくるみんの認定状況などを評価項目としている。

建設政策課長 災害時に技術者を県から各市町村へ派遣する取組については、既に市町村と協定を締結している。